

古釜布

～ふるかまっぷ～

【地区文化会館】

2014年5月オープン。映画館、図書館、体育館があり、定期的にコンサートが行われる。また、日本人と国後島在住ロシア人との住民交流会会場として使われる。

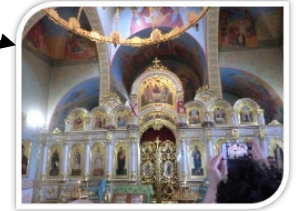


【消防署】 2012年、津波の可能性を考慮して、海岸から離れた高台に建設された。



【至聖三者教会】

鐘は携帯電話の遠隔操作で鳴らすことができる。



【古釜布中等総合教育学校】

11年制小中高一貫校。敷地内には別棟が増設され、木工室や家庭科室などが整備されている。



【郷土博物館】

2017年5月オープン。島の自然や歴史を豊富な展示で紹介している。



【商店街】

教会から学校にいたる道筋に商店が軒を連ねる。靴や衣料等の専門店もあるが、多くは食料品を中心とした雑貨店。



【スポーツ施設アファリーナ】

2017年2月にオープンしたスポーツ施設。競泳プールやトレーニングルーム等がある。



四島交流の島側窓口「ドークル」社。向かって左が食品店、右はカフェや船舶代理店事務所。



【友好の家】

緊急避難所兼宿泊施設。1999年に北方四島住民支援として設置された。四島交流の際に、宿泊施設として利用している。



【ソーニシコ幼稚園】

2018年3月開園。定員110名。遊戯室、食堂、保健室、温水プール、温室等が備わる。



【南クリル地区行政府】

建物前には広場やサッカー場があり、市民の憩いの場となっている。



～国後島豆知識～

古釜布…国後島の中心地。
人口7,033人（2023年1月）
四島交流の出入域手続が古釜布沖で行われる。

医療…古釜布には「地区中央病院」があるが、都市と地方で医療格差があり、慢性的に医師が不足している。島に移住する医師に対して住宅の無償提供、一時金の支給などを行って誘致が行われている。2020年CTが設置され、サハリン島に行かずに健診が可能になった模様。

新聞…「ナ・ルベジェ（国境にて）」という「地区」の機関紙があり、週2回新聞を発行している。